

宮城県議会

議長 菊地恵一 様

統一協会が推進する日韓トンネルを視察した政務活動費の返還等を求める申し入れ

2022年12月8日

日本共産党宮城県会議員団

団長 三浦一敏

県民に信頼される議会をつくるために日頃からご努力されていることに敬意を表します。

さて、私たち日本共産党県議団は去る9月6日、菊地恵一議長に対し、「県議会における統一協会および関連団体等とのかかわりの有無等、県民の疑念にこたえて、県議会が自ら調査し、公表することを求める」申し入れを行いました。

しかし、今日に至るも公表されていないことは誠に残念なことです。

統一協会をめぐっては、長年信者をマインドコントロールし、靈感商法や金集めにかかりたててきた事実が次々明らかになっています。

いま国会では、被害者を救済するための新法が与野党で議論され法制化されようとしています。

また統一協会と政治家の癒着が国会議員だけでなく地方議員にも、その影響がおよんでいることは看過できません。

宮城県議会として、以下の2点について、議長がイニシアチブを発揮して、すみやかに対応されるよう要請するものです。

記

① 自民党県議5人が2017年6月に統一協会が推進する日韓海底トンネル

の試掘現場である唐津市を視察しました。県民の税金である政務活動費を活用したことは猛省すべきであり、すみやかに自主返還するように促すべきです。

- ② 各会派においても、統一協会関連の会合や行事に政務活動費を充てた事実がないかを自ら検証し、不適切な政務活動費の支出がなかったどうかの有無を明らかにすべきです。

日本共産党県議団は、統一協会とはいっさいの関わりを持っていないことを団として確認していますが、各会派が事実関係を調査し、明確にしていくことが今後の関係を断ち切るためにも最小限必要なことだと考えます。

以上